

戦評用紙

平成 28年度

北河内地区 新人大会

28年 12月 24日 時刻11:10

男子 【準決勝】

枚方四 74 [18-15
19-12
18-16
19-18] 61 門真二

第1PD

白(枚方四)④⑤⑥⑦⑧, 黒(門真二)④⑤⑦⑧⑨でスタート。

先制は白⑥リバウンドシュート2-0。白はアウトサイドペネトレイト、⑥のリバウンドを中心に得点を重ねる。対する黒は④⑤のペネトレイトを中心に得点し、8-6。白⑥にことごとくりバウンドをつかまれる展開にたまたま黒がタイムアウト15-9。T.O.後、黒④の連続3Pで差をつめ1PD終了18-15。

第2PD

白④⑥⑦⑧⑩, 黒④⑤⑥⑦⑨でスタート。

2PD立ち上がり、両チームともにミスが目立ち、なかなか得点を重ねられない。白タイムアウト後は白⑥の力強いオフェンス、黒④⑦の1対1と一進一退の攻防が続く、26-25。2PDの残り2分黒のミスにつけこみ、白が立て続けに速攻で得点する。白は、1分間で8点をあげ、終了間際の白④の3Pも合わせて差を広げる。37-27と白10点リードで前半を折り返す。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑧, 黒④⑤⑦⑧⑨でスタート。

白は前半同様④⑥を中心にオフェンスを組み立てる。対する黒は④の鋭いドリブルから速攻で得点する。47-37となった所で速い展開を嫌った白がタイムアウト。タイムアウト終了後、白⑥のリバウンドシュートと白⑦の1対1、黒④の1対1で点を取り合う。白がわずかにリードを広げ、3PD終了 55-47。

第4PD

白④⑤⑥⑧⑩, 黒④⑤⑦⑧⑨でスタート。

白⑧が4PD開始早々3Pを決め、58-43。黒は④⑤の1対1を中心に対抗するも白⑥のインサイドプレーを止めきれず、どうしても差を縮めることができない。65-50 黒タイムアウト後、白は⑦⑧が連続でフリースローを獲得、落ち着いて得点をのばし、74-61で勝利を収めた。

(戦評/枚方市立第三中学校:川久保)

戦評用紙

平成 28 年度

北河内地区 新人大会

28年 12月 24日 時刻11:10

男子 【準決勝】

杉	23	{	9-10 3-11 6-9 5-16	}	46	楠葉
---	----	---	-----------------------------	---	----	----

第1PD

北河内新人大会 男子準決勝 杉⑤⑥⑦⑧⑨、楠葉④⑤⑥⑦⑧でスタート。

楠葉が開始早々⑥のドライブからの1対1で先制。その後はなかなか両チーム得点が決まらず、我慢の時間が続いた。その中でも楠葉は⑥の外側からの1対1や⑦のDFリバウンドから⑤のカッティングでの得点で勢いに乗ろうとするが、杉も苦しい中でリバウンドシュートなどで何とか食らいつき、9-10楠葉リードで、1Qを終える。

第2PD

2Qも杉⑤⑥⑦⑧⑨、楠葉④⑤⑥⑦⑧でスタート。

黒⑦のハイポストからの1対1に始まり、楠葉は⑦⑧のインサイドと外側のプレイヤーでのトレールプレーやスクリーンプレーで着実に得点を重ねる。一方、杉も苦しみながらも⑤の粘り強いプレーなどで何とか得点を重ね、食らいつこうとするが、差は縮まらず、前半を12-21楠葉リードで折り返す。

第3PD

3Qも両チーム同じスタート。(杉⑤⑥⑦⑧⑨、楠葉④⑤⑥⑦⑧)

開始してすぐ、楠葉④のドライブへ⑧が合わせ得点。杉は流れを変えようと、メンバーチェンジやタイムアウトを要所要所でとるが、なかなか攻めきることができず、楠葉のDFに苦しむ。点差を縮める時間を作れず、18-30で3Q終了。

第4PD

勢いに乗る楠葉は、⑥のインターセプトからの速攻や⑦の堅実なプレーで杉の追い上げを

許さない。残分5分で杉はタイムアウトを要求するが、その後も流れを大きく変えることはできず、終始楠葉ペースのまま、試合終了のブザーが鳴った。

(戦評/枚方市立楠葉中学校:眞田)

戦評用紙

平成 28 年度

北河内地区 新人大会

28年 12月 24日 時刻14:30

男子 【決勝】

枚方四

57

9-18
22-7
13-12
13-13

50

楠葉

第1PD

枚方四、楠葉共に ④⑤⑥⑦⑧でスタート。

序盤、両チームともアウトサイドシュートが決まらず流れに乗れなかったが、楠葉⑥の連続3P、交代で出場の⑩の好守で楠葉に流れが傾く。枚方四は、残り1分でタイムアウトを取るも、流れを変えられず、9-18と楠葉のリードで1PDを終える。

第2PD

楠葉④⑤⑥⑦⑩、枚方四④⑤⑥⑦⑧でスタート。

第2PD開始早々、枚方四⑥のリバウンドシュートで勢いづく。その後、バックドア、速攻、アウトサイドシュートと攻撃にリズムが出始め、残り4分で20-20の同点となる。その後も枚方四のシュートがよく決まり、第2PDは枚方四が22-7と巻き返し、前半を31-25と枚方四のリードで終える。

第3PD

枚方四・楠葉 ④⑤⑥⑦⑧でスタート。

枚方四は枚方四⑥のリバウンドシュート、④とのピック&ロールなどゴール下を中心にしたプレーで得点を重ねていく。一方楠葉は、⑤⑥のカウントプレーや⑥の3Pで食らいつき、第3PDは13-12と一進一退の攻防を繰り広げる。

第4PD

枚方四④⑤⑥⑦⑧、楠葉④⑤⑥⑧⑩でスタート。

枚方四⑥のポストアップからのゴールへのアタック、アウトサイドへのパスが枚方四の攻撃のリズムをつくる。楠葉はDFのプレッシャーを強め、残り1分27秒で④が3Pを決め、6点差に迫るも、その後のリバウンドやフリースローをきちんとおさえた枚方四が逃げ切り、優勝を手にした。

(戦評/枚方市立長尾西中学校:山元)